

地域医療構想の実現に向けた取組を 支援する「病床機能再編支援」

地域医療構想 と 病床機能別の病床数

地域医療構想の果たすべき役割

今後、更なる高齢化と人口減少に伴って、疾病構造が大きく変化していくことから、「治す医療」のみにとどまらない「治し、支える医療」への質的転換が必要

地域医療構想は、**将来の医療需要を踏まえ**、各構想区域において病床機能の分化・連携を図り、高度急性期・急性期・回復期・慢性期から在宅医療に至るまで**患者の病状に合った質の高い医療提供体制を構築**しようとするもの

「地域医療構想」策定（平成28年5月）

(1) 将来(2025年)の医療需要と必要病床数

- 高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4病床機能ごとに推計
- 県内の構想区域（二次保健医療圏）単位で推計

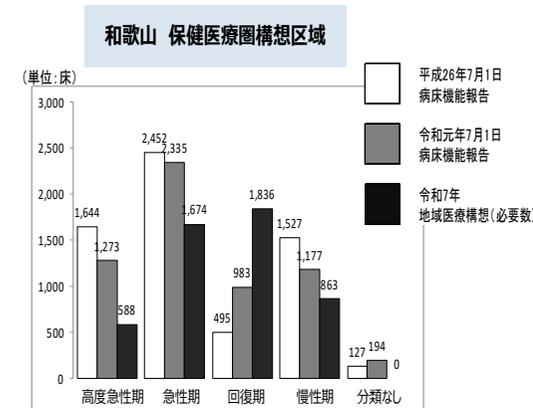
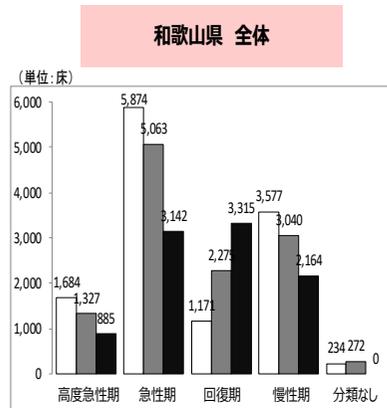
(2) 地域医療構想を実現するための施策

病床機能の分化・連携に係る取組、在宅医療の充実、医療従事者の確保・養成 等

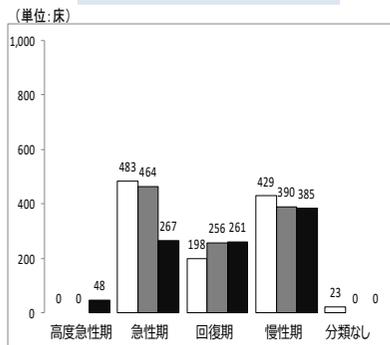
病床機能の再編・分化・連携に関しては、各構想区域の協議の場(地域医療構想調整会議)において、病床を有する医療機関の相互協議・理解のもと取り組んでいくこととしている

(単位:床)

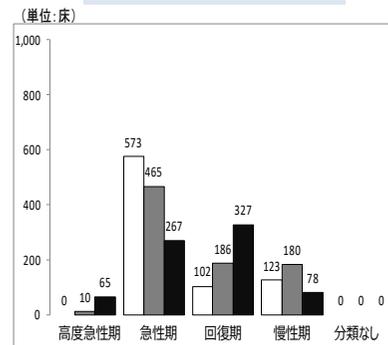
病床機能区分	平成26年	現在 令和元年	地域医療構想 令和7年
高度急性期	1,684	1,327	885
急性期	5,874	5,063	3,142
回復期	1,171	2,275	3,315
慢性期	3,577	3,040	2,164
分類なし(休床)	234	272	-
全病床 (一般+療養)	12,540	11,977	9,506



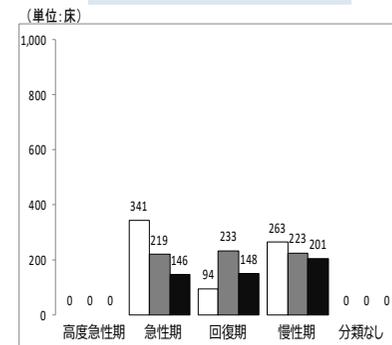
那賀 保健医療圏構想区域



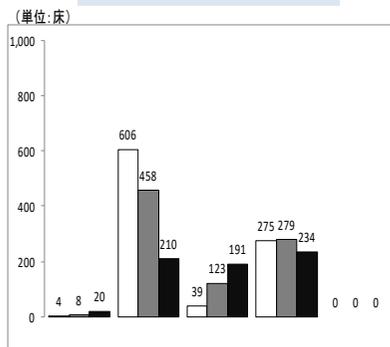
橋本 保健医療圏構想区域



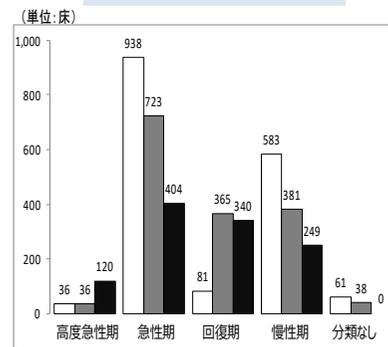
有田 保健医療圏構想区域



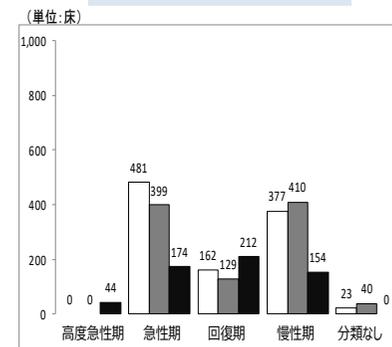
御坊 保健医療圏構想区域



田辺 保健医療圏構想区域



新宮 保健医療圏構想区域



新しい支援制度 病床機能の再編支援

- 【目的】 地域医療構想の実現を図る観点から、医療機関の自主的な病床削減や再編統合による病床廃止に対し財政支援を行うことにより、地域医療構想の実現に向けた取組を一層推進させる
- 【支援内容】 病床稼働率及び削減病床数に応じた給付金を支給
- 【支給の要件】 **地域医療構想を実現するために必要な病床削減・再編統合であるという**地域医療構想調整会議の議論の内容及び**都道府県医療審議会の意見を踏まえ**、都道府県が必要と認めたもの
- 【事業開始】 令和2年度～
- 【財源】 全額国庫

3種類の給付金	支給対象	支給額の算定対象
①病床削減支援給付金	高度急性期・急性期・慢性期の稼働病床を1割以上削減した病院・有床診療所	削減した病床数
②医療機関統合支援給付金	高度急性期・急性期・慢性期の病床削減を伴う統合計画に合意した病院	削減した病床数
③病院の債務整理に必要な借入資金に対する支援給付金	②の統合計画に合意し、統合によって廃止となる病院の未返済の債務を返済するために、新たな融資を受けた承継病院	融資に対する利子総額

